

平成26年度予算(案)のポイント

平成26年2月17日

小樽市財政部

※ 数値は概数のため、端数は合わないことがある。

※ 前年度比は、平成25年度当初予算額との比較

1 予算編成のポイント

○将来を見据えた諸課題への対応

病院の統合新築、学校再編に伴う校舎等改築、社会資本の耐震化や既存インフラ施設の老朽化対策、北海道新幹線新駅周辺のまちづくり計画の策定など

○重点施策

安全・安心な暮らしのための取組

〔迅速な避難行動を図るための避難支援事業、民間大規模建築物の耐震診断経費の助成、道路・トンネルなどの道路ストックを点検し修繕計画の策定など〕

市内経済の活性化に向けた取組

〔「企業立地トップセミナー」の参加企業等に対するフォローアップ、クルーズ客船の誘致推進、クルーズ客船などに対応する施設の整備、旧国鉄手宮線の整備など〕

次代を担う子どもたちへの取組

〔銭函保育所・子育て支援センターの建設、奥沢保育所での「延長保育」「産休明け保育」の実施、小学校へのデジタル教材（実物投影機）の整備など〕

○財政健全化に向けた取組を、引き続き継続

必要性・有効性を検証し、事業を厳選

2 予算規模

① 一般会計	561.9億円	(前年度比 ▲15.2億円 ▲2.6%)
② 特別会計	350.9億円	(前年度比 +1.0億円 +0.3%)
③ 企業会計	336.9億円	(前年度比 +64.4億円 +23.6%)
全会計	1,249.7億円	(前年度比 +50.2億円 +4.2%)

3 収入状況

○ 地方税が伸びない中、実質的な地方交付税が減少

※ 実質的な交付税・・・地方交付税+臨時財政対策債

○ 平成26年度も引き続き、財源不足が生じる状況



○ 財政調整基金の活用により、収支均衡予算を編成

① 一般財源収入	335.6億円	(前年度比 ▲4.6億円 ▲1.4%)
② 必要な一般財源	344.5億円	(前年度比 ▲7.8億円 ▲2.2%)
③ 財源不足額	8.9億円	(前年度比 ▲3.2億円減少)
④ 財源対策	財政調整基金の取崩し(8.9億円)により、収支均衡予算を編成	

平成 26 年度当初予算における重点施策

安全・安心で活力あるまちづくりを進めるため、後述の「平成 26 年度主要施策等一覧」にある項目に沿って、各種施策を積極的に展開してまいります。

その中でも、特に優先して取り組む施策として、昨年度に引き続いて「安全・安心な暮らしのための取組」と「市内経済の活性化に向けた取組」のほか、平成 26 年度は新たに「次代を担う子どもたちへの取組」を位置づけ、重点的に施策を進めてまいります。

1 安全・安心な暮らしのための取組

(1) 社会資本の耐震化や老朽化対策

○校舎等改築事業費（手宮地区統合小学校、山手地区統合小学校）	937,470千円
○校舎等耐震補強等事業費（奥沢小、湖見台中、朝里中、銭函中）	32,900千円
○非構造部材耐震化事業費（学校施設）	20,420千円
安全・安心な教育環境の確保	
○病院統合新築事業（災害拠点病院）	6,917,898千円
小樽病院と脳・循環器・こころの医療センターを統合し新市立病院を建設	
○上下水道施設整備事業費	843,005千円
配水管・汚水管整備など災害に強い上下水道施設の整備	
○道路ストック点検・修繕更新計画策定事業費	35,000千円
道路ストック（道路トンネル、舗装、道路附属物、のり面盛土擁壁等）を点検し、修繕計画を策定	
○銭函地区河川防災事業費	27,500千円
河川に溜まった土砂のしゅんせつや護岸等の改修により大雨等による浸水被害を防止	
○市有建築物耐震診断経費	49,900千円
本庁舎、市民会館、小中学校、総合体育館の耐震診断を実施	
○民間大規模建築物耐震診断促進経費	44,000千円
市内の民間大規模建築物所有者に対して、耐震診断費用の一部を助成	
○(仮称)消防署オタモイ出張所建設事業費	25,800千円
消防署長橋出張所と塩谷出張所を統合した新庁舎を建設	
○消防救急無線デジタル化事業費	224,942千円
消防救急無線のデジタル化に対応するための施設等整備	
〔※平成26年1定(平成25年度5定)補正予算(繰越明許費)〕	78,058千円
○小樽公園再整備事業費	96,600千円
明治26年開園の小樽公園を再整備	
○観光物産プラザ屋根改修事業費	74,000千円
○総合博物館運河館屋根改修事業費	57,500千円
観光物産プラザ及び併設する総合博物館運河館の屋根瓦を全面的に葺き替え	

(2) 防災・減災対策

①住民の避難行動の支援

○防災関係経費（防災訓練支援事業） 200千円

各町会等での避難訓練の実施を促進、津波浸水シミュレーションを活用した研修を実施

○防災関係経費（避難支援事業） 2,949千円

「津波注意喚起標識板」「海拔表示板」の設置、私立保育所や幼稚園などへ防災ラジオを配布

②避難所の環境整備の促進

○福祉避難所機能確保促進事業費 1,539千円

災害時要援護者のための福祉避難所の機能確保に向け災害用間仕切りセットを整備

○防災関係経費（避難所機能強化事業） 8,113千円

市内69避難所に非常用食糧や防寒対策用品等を計画的に配備

③原子力防災対策の推進

○原子力防災関係事業費 2,250千円

衛星携帯電話などの連絡通信機器や避難施設備蓄品など、必要な資機材等を整備

2 市内経済の活性化に向けた取組

(1) 小樽観光の振興

①観光客の誘致推進

○観光誘致促進事業費補助金 3,300千円

観光協会が行うナイトマップやクーポンの作成、クルーズ客船寄港時の物産展開催などに対して補助

○宿泊客誘致事業費補助金 2,000千円

企業の福利厚生会報誌等に本市観光の紹介と市内宿泊施設の広告を掲載し、宿泊客の増加を図る

○国内外観光客誘致実行委員会補助金 3,000千円

香港から旅行代理店担当者等を招へいするほか、関西や札幌での観光プロモーションを実施

○小樽国際インフォメーションセンター運営費交付金 10,355千円

外国語通訳を運河プラザに配置し、国内外の観光客に対する総合窓口を開設

○東アジア圏等観光客誘致広域連携事業費補助金 1,200千円

札幌市等と連携し、外国人観光客とMICE誘致に向けたMICEサミットへの参画やメディア招へいなどを実施

②新たな魅力づくり

○旧国鉄手宮線整備事業費 37,800千円

中心市街地の新たな観光資源として旧国鉄手宮線を整備

○小樽kawaiiティーパーティー実行委員会補助金 500千円

国内や海外にも広がる「kawaii（カワイイ）」をキーワードとしたイベントを開催

(2) クルーズ客船などの誘致・受入れに向けた環境整備

①クルーズ客船の誘致推進

○環日本海クルーズ推進事業費 1,820千円

小樽港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港、秋田県3港の5地域が連携してクルーズ客船の誘致活動や情報収集等を実施

○小樽港クルーズ推進事業費 15,840千円

小樽港クルーズ推進協議会によるクルーズ客船の誘致活動や寄港増に対応するための受入体制を強化

②クルーズ客船などに対応する施設の整備

- 国直轄工事費負担金（第3号ふ頭岸壁改良事業費） 20,000千円
第3号ふ頭及び周辺再開発事業の一環として老朽化が進んでいる16番岸壁を改良するための調査・設計
- 第3号ふ頭岸壁改良事業費 54,400千円
第3号ふ頭13～15番岸壁の老朽化対策と併せてクルーズ客船に対応するため係船柱などを改良
- 港内泊地しゅんせつ事業費 18,000千円
土砂などの堆積により浅くなった岸壁前面泊地の必要な水深確保のためのしゅんせつ
- 小樽港保安施設改良事業費 27,400千円
勝納ふ頭における大型クルーズ客船係留時の車両や歩行者の安全性確保及び港町ふ頭における定期RORO船等の警備体制強化のため保安施設を改良

(3) 地場企業の振興と企業誘致の推進

①地場企業の活性化

- 東アジア等販路拡大支援事業費 2,820千円
新たに海外へ商品を輸出する際の手続費用や商談会・展示会等への参加費用を補助
- 海外バイヤー招へい連携事業費 450千円
札幌市やJETRO北海道等との共催により、海外バイヤーとの商談会や製造工場見学会を開催し、市内企業への商談機会を創出
- 「小樽産品」販路拡大支援事業費 3,800千円
販路拡大を支援するため、道外の展示会への出展や小樽単独物産展の開催を支援
- 住宅リフォーム助成事業費 21,200千円
住宅リフォームに要する費用の一部を助成し、住環境の整備と市内産業の活性化を推進

②ブランド力の強化

- 水産物ブランド化推進事業費 1,100千円
品評会の開催や水産加工品のデータベースを作成
- 小樽ブランド力推進事業費 6,993千円
既存商品の磨き直しや新商品開発に向けたコーディネートを継続的な販路確保とともに実施
- 地場産品導入促進事業費 2,100千円
地域資源であるガラスの周知と活用促進を図るため小学生の卒業記念としてガラス製品の製作体験を助成

③企業誘致の推進

- 企業立地トップセミナーフォローアップ事業費 784千円
平成24・25年度に東京・大阪で開催した「企業立地トップセミナー」の参加企業等に対するフォローアップとして、市長などによる企業訪問を実施

(4) 雇用対策

①新規学卒者等の就職支援

- 高校生就職スキルアップ支援事業費 1,836千円
主に高校1・2年生を対象に、市内企業への就職率向上を図るため就職活動の実践能力向上事業を実施

②雇用創出・対策事業

- 観光型商店街活性化モデル事業費 10,501千円
空き店舗を活用した「商店街・観光案内所」の設置や、道内外に向けたPR活動など、商店街活性化のモデルづくりを委託により実施

- 小樽の街並み・景色を観光資源とした観光促進事業費 12,258千円
本市の観光画像データを刷新しデータベースを構築するほか、「小樽撮影ガイドブック」の作成などを委託により実施
- 海水浴場・観光イベント等クリーンアップ事業費 2,000千円
市内8海水浴場等と「おたる潮まつり」会場を巡回しながら、散乱ごみの収集・集積を委託により実施
- 市内一円砂箱補充事業費 1,000千円
市民との協働による急坂路線を中心とした凍結路面对策を充実するため、市内一円に設置している砂箱への砂小袋補充を委託により実施
- 於古発川店舗落雪対策事業費 650千円
於古発川店舗（妙見市場）の屋根からの落雪による事故や側道の通行阻害を防止するため、屋根の雪下ろし及び側道の除排雪を委託により実施

3 次代を担う子どもたちへの取組

(1) 子育て環境整備

- 子育てトレーニング教室開催事業費 238千円
子育てプログラム「コモンセンス・ペアレンティング」のトレーナー養成と普及に向けた子育てトレーニング教室を開催
- 子ども・子育て支援事業計画策定経費 501千円
「子ども・子育て支援法」で策定が義務付けられた「子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：平成27～31年度）を策定
- 保育所建設事業費
 - ・奥沢保育所 24,600千円
新園舎供用開始、現園舎解体工事、外構工事
(平成26年4月の新園舎供用開始から「延長保育」と「産休明け保育」を開始)
 - ・銭函保育所・子育て支援センター 402,558千円
平成27年度供用開始に向けて新園舎建設工事等を実施

(2) 学力向上対策

- 音読推進経費 272千円
全ての小中学校で取り組んでいる家庭学習での「音読」活動の充実を図り、児童生徒の学力向上を推進
- 義務教育活動経費（学校図書館整備費） 10,447千円
図書整備のほか、小中学校各1校に配置した図書館司書の複数校担当化や図書のデータベース化を実施
- スクール・ライブラリー便事業費 1,000千円
学校のリクエストに応じて図書館図書100冊を2か月間貸し出す「スクール・ライブラリー便事業」を全小中学校で実施するため、計画的に専用図書を購入
- 「小樽イングリッシュキャンプ」関係経費 151千円
市内小中学生の国際感覚を育むため、外国人との宿泊生活など「英語漬け」の時間を過ごすプログラムを実施
- デジタル教材整備費 1,812千円
児童が授業内容を理解する上で教育効果が高い実物投影機などを小学校に整備